

SUZENJI
Walking Map

すぜんじ史跡 ウォーキング マップ



発行: 鑄銭司自治会(まちづくり協議会)
鑄銭司蔵六コミュニティスポーツクラブ
所在地: 〒747-1221 山口市鑄銭司5675-1
鑄銭司地域交流センター
TEL 083-986-2360



2 大村益次郎誕生地



明治維新の功労者大村益次郎は、文政8年(1825)この地に生まれました。しかし益次郎出生の3年後、一家は父の実家の秋穂に移り、家は解きはらわれました。益次郎は長じて洋学・医学を学び、兵学を以て長州藩に仕えました。四境戦争や戊辰の戦いに参謀として参加し、明治新政府樹立のために尽くしました。大正4年、旧宅跡にこの記念碑が建てられました。

3 誓安寺



誓安寺は慶長19年(1614)に専芸という僧が開いた浄土真宗のお寺で、山号は大亀山、本尊は阿弥陀如来です。はじめ大村に創建されたのですが、明治元年に付近の民家から火がでて、類焼し、今宿に移転しました。寺宝に宝鏡寺宮が書かれた「誓安寺」という軸があります。この誓安寺の文字は、松平定信の『集古十種』に載っている有名なものです。平成13年(2001)には東側の新たな敷地に本堂等を建て、現在に至っています。

4 長沢池



江戸時代の慶安4年(1651)頃、時の代官、東條九郎右衛門によって造られた用水池です。周囲は約4.2kmあり、山口市と防府市にまたがっています。用水は鑄銭司・陶・名田島・台道の各地域の田をうるおし、豊作を約束しています。池の西岸に東條九郎右衛門の顕彰碑があり、また儒学者赤川晩翠の詩碑も湖岸に建っていて、風景に一段と詩情を添えています。

5 大村神社



大村神社は大村益次郎が祭神です。益次郎は鑄銭司村の医家に生まれ、長じて洋学・医学を学び、後に長州藩に仕えました。幕府の長州征伐や戊辰の戦いの折には、参謀として活躍し、明治新政府の樹立に尽くしました。新政府では国を守るための、国軍の建設に努力しましたが、反対派のために斬られて死去しました。神社は明治5年(1872)にお墓の傍に建てられましたが、昭和21年(1946)に現在地に移りました。

6 大村益次郎墓所



大村益次郎は、明治2年(1869)9月、京都で旧思想の武士達に斬られて重傷を負い、それがもとで11月5日に死去しました。ご遺体は船で運ばれ、この地に埋葬されました。墓域には益次郎の事歴を書いた神道碑が建っています。東京九段の靖国神社の社頭にある益次郎の銅像から益次郎ありし日の英姿が忍ばれます。

7 顕孝院



山号を慈雲山といい、臨済宗のお寺で、本尊は聖観世音菩薩です。室町時代の中頃、大内政弘の妹妙英尼が創建した寺で、はじめ大円の地にありました。大内義興は明応7年(1498)に、この寺に湯上庄五十石を寄進しています。大内氏や毛利氏の文書をはじめ多くの寺宝があります。境内に十一面観世音菩薩を安置する観音堂があり、墓地には妙英尼の供養塔が残っています。

8 黒山八幡宮



弘仁7年(816)に創建されたと伝えられる古社で、国史三代実録の貞観15年(873)に、黒山宮に位を授けたことが記されています。古くは黒山宮といっていました。中世に宇佐から八幡神を勧請し、黒山八幡宮と称するようになりました。現在の社殿は江戸時代の再建ですが、このように楼門に床を張って、拝殿に兼用した形式は、山口地方独特な造り方で、建築様式としては貴重なものです。鑄銭司の氏神様です。

9 周防鑄銭司跡



鑄銭司とは、飛鳥・奈良・平安時代に、国家の銭貨を造っていた役所のことです。ここには、平安時代の天長2年(825)から約200年間鑄銭司が置かれ、銭貨を鑄造していました。鑄銭司は長い期間に陶から鑄銭司にかけて数回移転したようですが、ここ四辻の遺跡からは鑄銭に使用した道具などが多く出土して、工場跡がはっきりわかりました。「周防鑄銭司跡」は国指定の史跡となっています。

10 千体仏



中世、ここに聖堅庵という寺があり、千体地藏が本尊でした。後には正元庵と書かれていますが、同じお寺だと考えられます。千体地藏の名のとおり、10cm程の木彫りの彩色の地藏がおよそ千体並んでいます。これとは別に、少しばかりですが、古い形の地藏があります。それが聖堅庵時代の千体仏の名残だといわれます。同じ仏像を千体も並べて拝むということは、仏の功德が大きいという考え方からでした。

11 両足寺



山号を南明山といい、臨済宗のお寺で、阿弥陀如来が本尊です。もとここには極楽寺という寺がありましたが、火事で焼けました。その後木原就通という者が、寺を再興し、一元寺と改めました。江戸時代には、黒山八幡宮の社僧もつとめていました。明治になり、顕孝院と一時合併しましたが、門徒の希望で再興し、寺号を両足寺としました。寺宝に中世に書写された大般若経などがあります。

12 善立寺



山号は鳳龍山。浄土真宗のお寺で、阿弥陀如来が本尊です。寺伝によりますと、和泉国城主、主計頭節忠が戦国の世を憂い、本山准如宗主の弟子となり、芳名を釋願と授けられました。その後、慶長13年(1608)に、この地に下り、一字を建立しました。昭和33年(1958)に、本堂、庫裏を消失しましたが、翌年に再建されました。

13 権現社



「和西の権現様」とか「熊野宮」とか呼ばれています。社伝では大宝2年(702)の創建と伝えられています。古くは日の山権現と称していたといわれ、国史三代実録の貞観15年(873)に見える火山神はこの神社のことと考えられ、一説には鑄銭司の役所の鬼門除けの神社ともいわれています。はじめ紀州熊野から琵琶山に勧請していたものを、慶長の頃、毛利輝元が現在の地へ移したといえます。